



# 関西支部報

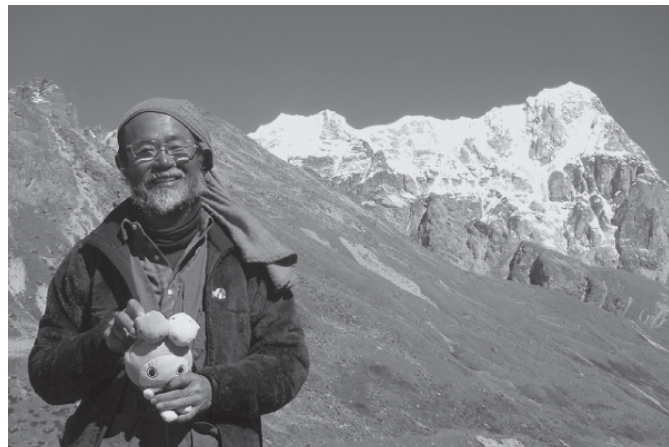
http://www.jackansai.com

## ヒマラヤに山を想う

茂木完治

昨春秋、80周年プロジェクトとして行った東ネパールのヒマラヤ登山で、未踏峰のナンガマリⅡ峰に初登頂を果たせた。幸いにも私も登山隊に参加して、登頂することができた。これは3年にわたる重廣隊長の尽力と、それを後ろから支えた金井支部長をはじめとする多くの会員の方々の助けのおかげであった。その尽力と努力に対し深く感謝する次第です。また、空港まで見送りや出迎えに来ていただいた方々にも御礼申し上げます。

思えば、中学生の頃にヒマラヤに憧れて高校で山岳部に入ったが、無理して気管支を傷め挫折した。もう山は止めようと思ったが、沢登りに出会い以降50年続けて現在に至った。ヒマラヤは私には縁がない世界と思ってきたが、50年ぶりの夢の復活だった。ヒマラヤの高嶺は素晴らしい場所だった。頂上への稜線に這い上がった時、夜が明けて東のカンチェンジュンガ近くから太陽が昇った。見る間に光が広がり、ナンガマリⅡ峰は白く輝いて聳え、西の地平線には沈みゆく満月の下にサガルマータ、ローツェ、マカルーが輝いていた。その神々しさに打たれた。なんと美しい世界だろうと。これがヒマラヤなのか。多くの岳人が憧れる山なのかと。



ナンガマリⅡ峰をバックに 写真提供：茂木完治

80周年記念でヒマラヤの未踏峰登山が持ち上がった時、それこそ反射的に手を上げた。今行かなければ永遠に行けないだろう。1回だけでいい、行きたい。行くと決心したものの自信がなかった。高所の寒冷、乾燥の世界(沢とは全く反対の世界)に身体が耐えられるのか？雪山といえば1980年の前後数年間、中ア、南アなどで冬の沢登りを試みたぐらいしかなかった。

これほどの規模の登山は、私には初めての経験だった。

### 目次

ヒマラヤに山を想う	茂木完治	1
2016年度著者と語る会報告	.....	2
ナンガマリⅡ峰初登頂報告会	村田かおり	3
平成29年関西支部新年会報告	田島聖子	3
関西支部と私	水谷透	4
支部山行報告	.....	3
熊野古道伊勢路シリーズ3	中川委紀子	5
ゆるやか山行「里山探訪」歴史と文化を訪ねる36	松村文子	5
しっかり歩こう	小黒節郎	6
熊野古道伊勢路シリーズ4	田中アキエ	7
ゆるやか山行「里山探訪」歴史と文化を訪ねる37	岩崎しのぶ	7
しっかり歩こう	山内幸子	8
熊野古道伊勢路シリーズ5 森沢義信	.....	8
ゆるやか山行「里山探訪」歴史と文化を訪ねる38	内田喜弘	9
4000山グランプリ	長瀬美代子	10
県境縦走45	若林朋世	11
陽だまり山行	橋本圭之輔	11
しっかり歩こう 六甲全山縦走その1	阪上茂生	12
4000山グランプリ	松波幹夫	12
ゆるやか山行「里山探訪」歴史と文化を訪ねる39	播戸日出生	13
本山寺山森林づくりの会活動報告	.....	13
第20回森の勉強会報告	斧田一陽	14
自己紹介	斧田一陽	15
会務報告	竹森壮孝/永野彰一	15
第4回委員会議事録	.....	16
第5回委員会議事録	.....	17
ルーム日録	.....	18
受贈一覧	.....	18
支部山行計画	17年4月～6月	19
自然保護行事	17年4月～6月	20
編集後記	.....	21

この登山を通して多くの事を学ぶことができた。1年前からの身体作りから始まり、登山に入ってから自分の身体を維持するのにずいぶん気を使った。これほど神経を使った山行は初めてである。この歳になると、登るためには努力がいることを改めて感じた。

惜しむらくは、あまりにも人に頼ってしまったので、自分の山行ではなかったという事である。この感動の醒めぬ間に今一度ネパールで自分の登山を試みたい。やるならばライフワークの沢登りをしたい。4000~5000m級の山で標高差2000m、谷中4泊くらい。カトマンズに近いランタン渓谷あたりならば10日間で可能ではないか、などと考えている。沢ならネパールではほとんどが未記録だ。未踏の頂上は素晴らしいが、誰にも相手にされない未記録の沢もまた魅力的だと思うのだが…。

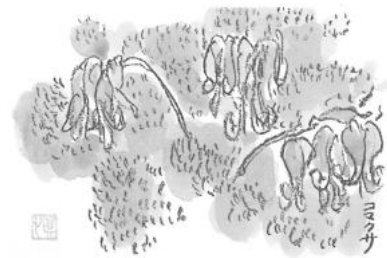
このプロジェクトで久しぶりに大西保さんにお会いした。大西さんは本当に自由奔放で、魅力的だった。関わりは35年前の台湾の谷である。私たち大阪わらじの会隊は1982年に台湾の最高峰玉山の沙里仙溪で敗退した。それを知った大西さんは、それならと中華民国山岳協会(中山協)に申し込んだらしい。当時大西さんは台湾で仕事があって、中山協とも交流があったそうだ。この谷は手を付けている隊があるからと中山協に待たされたらしい。玉山の未踏であった南梓仙溪右俣を勧められ1983年5月に初廻行された。ちなみに沙里仙溪の初廻行は、1967年の九州大学隊。私たちは下流にある大ゴルジュを主眼に完全廻行で第2登を狙い、1983年11月に成功させた。それから10年ほど台湾の沢が縁でお付き合いさせていただいたが、その後大西さんはヒマラヤに没頭されるようになって疎遠になっていた。

その大西さんがプロジェクトに入って、ナンガマリ峰を選んでくれた。私は大西さんとヒマラヤに登れるというのが楽しみだった。ところが病に倒れ、2014年9月に亡くなられてしまった。さぞ残念であったらと思うと心が痛む。最後に大西さんに言われたことが心に残っている。「オレは未知を求めてヒマラヤに通ってきた。その気持ちを、茂木よ、君ならわかるだろ。」

未知、未踏、未記録の世界を開拓するのが山屋、沢屋のロマンだと思う。私もささやかながらそれを求めて沢登りをしてきた。私が沢の世界に入った1970年の頃は、国内の谷はおおた踏査されてしまい、残されている困難な大滝やゴルジュを求めて渓谷登攀が言われていた時代である。より困難を求めるのは、私のようないい加減

な人間には性が合わなかった。それよりは、誰も手を付けていない探検的な沢をやりたくて海外に対象を求めてきた。

未知、未踏、未記録、はたまた探検などという大袈裟であるが、どこまでも個人的視点からのものだと思う。道を歩いている限りは、たとえ標高4000~5000m級の山でも登山とは云えないだろう。道からはみ出て、うろうろして自分の山を発見するのが一番楽しい。たとえ標高100mの山でも。コース図を見ながら登るのではなく、自分がコース図を作るのだ。身近にも未知、未踏、未記録はある。そんな山登りを今後も続けたい。



## 2016年度 著者と語る会報告

沖允人氏講演『インドヒマラヤ』をめぐる

11月26日(土)大阪府立中央図書館大会議室にて関西支部の山の日関連行事として開催された。

今年は関西支部では東ネパールへ登山隊を派遣していることもあり、海外登山関係の話題ということで、一昨年末に日本山岳会110周年記念として東海支部によって編集刊行された『インドヒマラヤ』の編集委員長を務められた沖允人氏をお招きしてお話ししていただいた。

インドヒマラヤは、西のインド領東部カラコルムから間にネパールとブータンを挟み、東のアルナーチャルまで、約1000kmに及ぶ長大な山々の連なりである。『インドヒマラヤ』編集のエピソードを交えながらインド領東部カラコルム、シャチェン氷河周辺、ザンスカール、キシウトワールなどに絞ってパワーポイントを用いて報告された。(N)

### 参加者

新本政子 岩崎しのぶ 魚津清和 浦上芳啓 大西康郎  
岡田輝子 金井健二 金井良碩 久保和恵 田中俊甫  
戸島泰三郎 中島隆 野口恒雄 廣田猛夫 水谷透 宗  
實慶子 宗實二郎 茂木完治 山内幸子 伊原哲二 沖  
允人 仕名野完治 浅田博三 岐部明弘 小林三喜男  
嶋岡章 田島聖子 田中アキエ 会員外9名 計37名



**東ネパール登山隊2016  
ナンガマリⅡ峰(6,209m)初登頂報告会**

村田かおり



写真提供：松波幹夫

日本山岳会創立110周年、関西支部設立80周年事業のひとつである「ナンガマリⅡ峰初登頂」報告会が、新年会に先立ち開催されました。会場は山岳会会員(会友含む)57名、会員外32名の計89名と予想を上回る盛況で、ヒマラヤ登山への強い関心が伺えました。

重廣隊長より今回の記念事業に関する経緯が説明され、登山隊出発までの期間にどのように準備をし、現地では如何に隊の体制を整えたか等の詳細がパワーポイント

を使って説明されました。

万全の準備をしてカトマンズを出発。雨季の辛いキャラバン、予定より低い高度のベースキャンプ建設。C1建設後も、重度の高度障害2隊員をチャーターヘリでカトマンズへ移送、病院で受診後松仲隊員は帰国、岩井隊員は再びヘリコプターで隊に復帰するなどのハプニング。C2へのルート工作や荷上と、日程が過ぎる中で降雪や隊員の疲労などで幾度も繰り返されるタクティクスの調整。限られた条件の中で登頂を果たすという時間との闘い。淡々と語られる報告内容を伺いながら、緊迫した現場を想起せずにはいられませんでした。

登頂報告の後、個々の隊員から登頂の感想と共に「また未踏峰に行きたい」「次世代の育成に力を入れたい」などの今後の目標が述べられ、「ヒマラヤ登山塾」を通して得た次なる高みへの意欲が感じられました。

最後のまとめで重廣隊長から、登山は「夢」「計画」「実現」の繰り返しであり、そのためには「体力」「技術」「豊かな経験に裏打ちされた精神力」の三位一体が肝要であるとの話がありましたが、山に触れる者であれば常に念頭に置くべき指針と受け止めました。

用意した座席も不足するほどの盛況で報告会は終了。散会後も隊長・隊員へ個々にお話しを伺う参加者で溢れ、2017年関西支部の華やかな幕開けとなりました。

**平成29年 関西支部新年会報告**

田島聖子

恒例の新年会は前日の荒天もおさまたつ1月21日(土)、今年も「大東洋」において夕方6時半より55名の出席者のもとで開催されました。

金井支部長の挨拶に引き続き、城隆嗣東ネパール登山隊2016顧問の乾杯の音頭、重廣隊長のお礼の挨拶と続き、宴会が始まりました。

今年は昨秋のナンガマリⅡ峰初登頂及び全員無事帰国も手伝ってか宴会は時が進むと共に盛り上がり、その合間合間に平林克敏80周年記念募金委員長、四国より駆けつけられた尾野益大四国支部長、或いは留守を守られた辻和雄登山隊事務局長等の遠征にまつわるお話と挨拶があり、その間にも会員たちは席を立てて各テーブル間を動き回り会員同士の交流を深めました。終わり近くに新しく入会された3名の方々の紹介があり、最後に茂木副支部長の飛び入りの歌を聴きながら楽しくも和やかなうちに閉会となりました。



写真提供：水谷 透

**参加者**

- 新井浩 新本政子 井関正裕 伊原哲士 岩崎しのぶ  
 魚津清和 浦上芳啓 大津陸郎 大塚和子 大塚宏暁  
 大西康郎 岡田輝子 小黒節郎 尾野益大 斧田一陽  
 加藤芳樹 金井健二 金井良碩 清瀬祐司 久保和恵  
 黒田記代 河野直子 小島一喜 薦田佳一 阪下幸一



なって再び金井良碩さんに呼び出され、委員に復帰することになりました。その頃、支部ルームは今里のセルロイド会館に移っており、私が9歳まで住んでいた家の近くでした。

2012年、還暦を迎えて仕事を辞める決意をしました。仕事の都合で西区に住んでいましたが、仕事を辞めるなら生活し易いところに引っ越そうと、現在のマンションに決めたのは2013年春でした。その時点ではマンション

は建築中で、入居は翌2014年の春でした。ところが、関西支部設立80周年事業の一つとして、支部ルームは2013年11月に中崎町へ移りました。今住んでいるマンションから地下鉄でわずか2駅、自転車で15分足らずの距離です。

このように、ほとんどの期間を支部ルームの近くに住んでいることになり、いつまで経っても総務担当から外れることなく続くことになっています。

## 支部山行報告

### 支部山行16-23 熊野古道伊勢路シリーズ3 荷坂峠～八鬼山登山口

中川委紀子

伊勢の皇太神宮は皇祖として宮中に祀られていたが、垂仁天皇の頃に現在の五十鈴川沿いに社地を定めたとされる。もとは一般の参拝を許していなかったが、平安時代末期に各地の寺社参詣の流行とともに、伊勢参宮も、「伊勢へ七度(ななたび)熊野へ三度(みたび)、愛宕さまへは月参り」と、親しまれるようになった。

伊勢路は、熊野信仰の高まりのなかで一般化したルートで、伊勢と熊野をむすぶ巡礼道である。路は海岸線と約10箇所峠を越えて進み、八鬼山を境に伊勢神宮と熊野権現が勢力を分けたという。江戸時代に入ると、この地域を管轄した和歌山藩が経路を整え、寛永12年に石畳道にした。これが今日の世界遺産・伊勢路で、私たちの一行もこの道を歩いた。



馬越峠への石畳道 写真提供：魚津清和

#### 9月28日(水)曇後晴

当日は、生憎の曇空に断続的な降雨があったが、当地に詳しい森沢義信さんの案内と計らいで、伊勢路のハイライト馬越峠を登坂。雨上がりの滑りがちの石畳道を踏みしめながら、ふと山の斜面にも土留め用の石貼りが敷

設されていることを確認。江戸時代の道普請の丁寧さに感服した。伊勢道は山腹をトラバースするが、有志は天狗倉山山頂での展望も楽しんだ。

#### 9月29日(木)曇

今日は三浦峠と始神(はじかみ)峠一山中を古道と明治道(林業道)が縫った。古来この道を歩んだ人々や伊勢・熊野信仰の全国への広がり思いを馳せる山行だった。

#### 【コースタイム】

28日 大阪梅田07:00(バス)荷坂トンネル東口10:42—10:46荷坂峠—12:26道の駅・紀伊長島マンボウ(バス)道の駅・海山13:25—13:35馬越峠登山口—15:09馬越峠—17:15馬越公園—17:41北川橋・尾鷲神社(バス)18:15古里(旅館泊)

29日 旅館07:30(バス)三浦峠登山口07:45—08:02三浦峠—08:53JR三野瀬駅前(バス)始神さくら広場09:15—10:03始神峠—11:00国道42号・明治道合流点(バス)阿曾温泉(バス)17:57大阪梅田

#### 【参加者】

久保和恵 森沢義信 山内幸子 魚津清和 浦上芳啓  
佐野加代子 戸島泰三郎 中川委紀子 中島隆 野村哲夫  
松村文子 宗實二郎 宗實慶子 (会友)浅田博三  
岐部明弘 黒岩敦子 小林三喜男 田中アキエ 播戸日出生  
横山規江 (会員外)橋原史 西岡道子 高原記久子  
守田チヨ子 計24名

### 支部山行16-24 ゆるやか山行「里山探訪」

歴史と文化を訪ねる36

六甲山系 市章山・錨山・諏訪山公園

松村文子

#### 10月20日(木)晴

新神戸駅に集合。駅北側に出て山道に取りつき城山を



目指して高度を稼ぐ。平日のせいもあってか人に会わず静かな山道だ。山頂近くになると道はなだらかになり城山に着く。

ここはかつての滝山城の跡だ。緩やかな上り下りを経て堂徳山の三角点を探す。この辺りにはカゴノキ(鹿子の木)が目立つ。樹皮が剥がれて白い鹿の子模様になることからこの名が付けられたそうだ。

今日の最高点堂徳山(三等三角点377m)に到着。展望がなく残念だ。緩やかな下りで市章山へ。ここで昼食とする。南側の展望が開け、眼下に広がる神戸の街並みを満喫。モミジが少し色づいていて秋の気配を感じた。市章山と錨山は南側が市章と錨の形に木が刈り込まれ、市街地や海上からはよく見え、特に夜は点灯されるのとはっきり見ることが出来る。諏訪山からヴィーナズブリッジを通り、諏訪神社を経て諏訪山公園に下山し、解散した。



市章山からの展望 写真提供：魚津清和

### 【コースタイム】

新神戸駅10:05—11:40城山—12:00堂徳山—12:23市章山  
13:05—13:13錨山—13:50ヴィーナズブリッジ—14:01諏訪神社—14:17諏訪山公園

### 【参加者】

久保和恵 山内幸子 魚津清和 浦上芳啓 瓦葺邦夫  
嶋岡章 戸島泰三郎 中島隆 橋本圭之輔 松村文子  
水谷透 (会友)岐部明弘 黒岩敦子 小林三喜男 田中  
アキエ 横山規江 若林朋世 (会員外)中山登

計18名

支部山行16-25 しっかり歩こう

丹生山系縦走 衝原湖～シビレ山～帝釈山～稚子ヶ墓山～大池駅

小黒節郎

10月23日(日)曇

神戸電鉄有馬線箕谷駅集合後、バスで衝原湖へ。サイ



稚児ヶ墓山にて 写真提供：前田正彰

クリング道をしばらく歩き湖畔の登山口よりスタート。地図読み勉強中の若林さんを先頭に沢筋を登る。スタートから約1時間で尾根道に合流。ここからはっきりとわかりやすい登山道を進む。途中マウンテンバイクの人とすれ違いびっくり！ 帰宅後ホームページを見たら岩屋峠～帝釈山～シビレ山～道の駅淡河のルートで走破しているレポートがある。いろんな山の楽しみ方があるものだ。

シビレ山山頂を経て順調に縦走路を進む。先を急ぐので丹生山山頂には寄らずに帝釈山を目指す。本日の最高峰585.9mの帝釈山山頂からは展望がよく、衝原湖・瀬戸内海などが見渡せる。昼食で栄養補給し、先の長丁場に備える。ここから高度を下げR428の岩屋峠南に出る。しばらく南下して車道と別れ池脇の登山口から稚子ヶ墓山を目指す。約40分登り山頂到着。山名は戦国時代の悲劇に由来とのことで合掌。沢筋の道から歩きやすい尾根道を経て花折山。爽やかな風を受けながらしばらく下ると兵庫CC脇に出て車道を進む。「来週ゴルフにいこうかな」などと考えながら歩いて、最後のピーク金剛童子山の登山道に入る。10分強の登りで山頂。

残るは大池駅への下りだけだとはっとしていたら、ここからが予想外に苦戦。途中の黒甲越の道がモトクロスバイクで大きくえぐられた泥道で、歩きにくく閉口。ようやく歩きやすい道に出て、夕日を望む鉄塔下でヘッドランプを準備。最後は真っ暗な中を下山し、大池駅で解散。駅前では有志4名が適度な疲労感と満足感を味わいながら乾杯！ 本日の総歩行数34,343歩(自宅 to 自宅)しっかり歩いた。

関西支部転籍後2回目の参加ですが、還暦の私は本日参加10名の中若手三番目(初参加の阪上氏が二番目)、諸先輩の元気さに圧倒された一日でした。

### 【コースタイム】

衝原湖サイクリングターミナル09:22—09:38登山口—11:10

シビレ山—12:25帝釈山12:50—13:38岩谷峠—14:40稚子ヶ  
墓山—15:35花折山—16:23金剛童子山—17:50天下辻—  
18:10大池駅

**【参加者】**

山内幸子 久保和恵 野口恒雄 橋本圭之輔 前田正彰  
宗實二郎 小黑節郎 (会友)黒岩敦子 若林朋世 (準  
会員申請中)阪上茂生 合計10名

**支部山行16-26 熊野古道伊勢路シリーズ4  
八鬼山登山口からJR二木島駅**

田中アキエ



難所、八鬼山越え「ちょっと休憩」 写真提供：魚津清和

**10月26日(水)曇**

大阪梅田よりチャーターバスで出発。八鬼山登山口に  
予定より1時間早く到着した。天気はどんより曇り空だ。  
伊勢路の中では最大の難所で、往時は山賊・狼が出没し、  
旅人達を苦しめたと言われ、また、行き倒れた巡礼者も  
多く、町石を兼ねたお地蔵さん墓碑も多い。

籠立場で昼食。「籠立場」は紀州藩主や巡検使などが  
街道を通行するとき、乗っている籠を止めて休憩した場  
所です。七曲りの苔むした石畳道の登りは、湿度が高く  
て汗だくになりながらも九木峠、荒神茶屋跡、八鬼山山  
頂、そしてさくらの森展望台へ到着しました。でも楽し  
みにしていた展望は曇っていて見えず残念でした。山頂  
から江戸道をたどり十五郎茶屋跡を経て三木里に下山  
し、今日の宿泊するしめや旅館に到着しました。

**10月27日(木)晴**

三木峠道から眺める賀田湾風景と、羽後峠道の何処ま  
でも続く猪垣である。

シダに覆われた羽後峠道、また猪垣は素晴らしいし、  
苔むした石畳道も残っており、風情のある古道です。曾  
根次郎坂太郎坂はヒノキ林の中の石畳道。階段状で苔む

して、ここもなかなかの風情があり、また珍石の中でも  
特に面白かった鯨石。進んで甫母峠に登り「ほうじ茶屋  
跡」に残る赤いよだれ賭けをしたお地蔵さんの祠を後に  
して二木島駅にしました。

今日は晴天に恵まれ無事終了しました。

**【コースタイム】**

26日 大阪梅田07:00(バス)八鬼山登山口10:52—11:30籠  
立場—12:58桜茶屋一里塚跡—13:20九木峠—14:03八鬼山  
山頂—14:16さくらの森展望台—15:25十五郎茶屋跡—  
16:33名柄一里塚—17:11三木里(旅館泊)

27日 旅館07:20(バス)コヨネ道入口07:36—08:18三木峠  
—08:57国道出合—09:48羽後峠—10:45JR賀田駅前—  
11:34曾根一里塚跡—12:03甫母峠—12:18楯見ヶ丘—13:51  
国道出合—14:18JR二木島駅(バス)18:49大阪梅田

**【参加者】**

久保和恵 森沢義信 山内幸子 魚津清和 黒田守彦  
戸島泰三郎 野村哲夫 松村文子 宗實二郎 宗實慶子  
(会友)浅田博三 岐部明弘 黒岩敦子 田中アキエ 播  
戸日出生 横山規江 (会員外)中山登 計17名

**支部山行16-27 ゆるやか山行「里山探訪」**

歴史と文化を訪ねる37

**信貴生駒山系 十三峠越え**

岩崎しのぶ



薬平ロマンの道 十三峠 写真提供：魚津清和

**11月10日(木)晴**

近鉄平群駅から生駒山系へと舗装道路をゆるやかに登  
る。住宅街にいきなり「つぼり山古墳」が現れる。七世  
紀初頭の築造だ。国の重要文化財に指定された藤田家住  
宅の先で細い道を下っていくと白山神社。福貴地区の氏  
神だ。舗装道路を更に登り町営の墓地を通り過ぎると広  
大な朝鮮族の墓地に出た。前の広場で小休止、中島さん



差し入れの富有柿を頂く。いつもながらのお心遣いに感謝。田畑の中に集落が点在する道を更に進むとやがて福貴畑の氏神、杵築神社が道路脇に見えてくる。ここで昼食とする。境内の観音堂には本尊の聖観音座像が安置されている。

車の往来が頻繁となった道路を更に進むと在原業平も越えた十三峠に到着。ここから嶋岡さんのガイドだ。近くの三等三角点(点名・経ヶ塚)を確認して大阪側に下山開始。登山道を水飲地蔵尊へと下る。ここの展望台では大阪平野が大きく開け、乱立するビルの向こうに遠く淡路島、六甲山系、五月山、ポンポン山と眺められる。更に道なりに下り十字路を越え集落を下ると心合寺山古墳に出た。標高30mの環濠式前方後円墳で堀には鴨がのんびり泳いでいる。古墳の上で嶋岡さんの解説を聞き記念撮影。大竹バス停に下り、近鉄瓢箪山駅へと向かう。

#### 【コースタイム】

近鉄平群駅10:09—10:34白山神社—11:08金氏霊園前—11:59杵築神社12:37—13:03十三峠—13:13経ヶ塚—13:38水呑地蔵尊—14:57心合寺古墳—15:25大竹バス停(バス)15:54近鉄瓢箪山駅

#### 【参加者】

久保和恵 山内幸子 岩崎しのぶ 魚津清和 浦上芳啓  
 薦田佳一 嶋岡章 戸島泰三郎 中島隆 橋本圭之輔  
 廣瀬健三 松波幹夫 松村文子 (会友)浅田博三 岐部  
 明弘 黒岩敦子 小林三喜男 田中アキエ 中田栄 横  
 山規江 計20名

#### 支部山行16-28 しっかり歩こう 黒岩尾根～桜谷～新穂高～シェール槍

山内幸子

11月12日(土)晴

風邪等で参加者が3名になる。寂しい山行になるが多くの登山者に負けずに元気に歩き出し、布引貯水池から黒岩尾根入口まで進み尾根に取り付く。黒岩尾根は登る人の少ない静かな尾根で、山をじっくり楽しむにはいいので気に入っている。登山者でにぎわう天狗道から三等三角点のある摩耶山頂上に寄り桜谷を下り徳川道に出る。徳川道の途中から新穂高への道に取付き、岩の間を歩いて三枚岩の上に出る尾根を慎重に登って行く。岩場が終わり、ササが出てくると648mの新穂高である。北アルプス穂高岳のような喧騒は無い小さくて静かな頂上で記念撮影をする。ササの尾根を南東に下り徳川道に出て、穂高湖からシェール槍に登る。10分もかからない岩

場に登り展望のいいシェール槍の岩の上で先ほど登ってきた穂高を見ながらしばし休憩してアルプス気分を味わう。来た道を戻り、穂高湖から杵築を下り阪急六甲駅に出て解散する。名前の通り穂高・槍とアルプス気分を味わえる面白いコースであった。よく歩いている六甲の山だが道を間違えることも多く、今回も六甲に精通されている宗實さんに助けていただいた山行になり感謝



新穂高頂上にて 写真提供：山内幸子

です。

#### 【コースタイム】

新神戸08:40—09:07布引貯水池—09:39黒岩尾根入口—11:24摩耶山—13:30新穂高—14:30シェール槍—14:55杵築峠—16:25杵築谷入口—16:55 阪急六甲駅

#### 【参加者】

宗實二郎 山内幸子 (会友)黒岩敦子 3名

#### 支部山行16-29 比良山系を歩く

11月19日(土)実施予定の「白滝山1022m」は、雨天により中止

#### 支部山行16-30 熊野古道伊勢路シリーズ5 JR二木島駅から新宮速玉大社

森沢義信

今回の山行をもって5回シリーズの熊野古道(街道)伊勢路が無事終了しました。伊勢路は平安時代から伊勢と熊野を結んできた往還です。江戸時代に紀州徳川家は紀州と松阪や田丸などの伊勢の一部も治めました。藩は伊勢路を領地間の公用路として整備し、一里塚なども設けました。しかし藩主の江戸参勤には吉野を経由する伊勢南街道が利用されました。伊勢路はもっぱら伊勢から熊野三山を経由して、西国三十三所観音霊場を巡拝する巡礼の道として賑わいました。特に伊勢神宮を参拝した関東・東北の旅人の約3分の1が引き続いて西国観音霊場第一番的那智山青岸渡寺に向かったといわれています。数人から数十人で団体を組み、早いものは4、5日で那智山に到着したようです。

伊勢路は、行程の3分の1が熊野灘の海岸線に沿った



山間部をはしっています。急坂の登り下りの連続で、特に647mの山頂を越える八鬼山越えは、西国三十三所道中でも最大の難所と言われました。オオカミもまだ多数生息していました。熊野灘の大波を避けて親知らず子不知となる難所もありました。巡礼たちは那智山から最後の難関である中辺路を越えて紀州田辺に着くと、険路から解放された喜びに旅籠で餅をつき振る舞ったと言われています。

**11月23日(水)曇**

JR二木島駅から山腹を登り280mの逢神坂峠を越えました。新鹿の海岸まで下り、波田須の道に入り、鎌倉時代の石畳や徐福の宮を見てから200mの大吹峠に登り、再び大泊海岸に下りました。この間およそ4.7kmが世界遺産に登録されています。夕闇がせまる中、横道にそれて世界遺産の鬼ヶ城を見学しました。昔の巡礼たちは鬼ヶ城に立ち寄ることはほとんどなかったことがその日記からうかがえます。

**11月24日(木)雨後晴**

世界遺産の七里御浜に触れるため、砂浜を歩いて獅子巖から記紀伝説の花の窟に参拝しました。その後はバスで世界遺産の新宮速玉大社と熊野本宮大社に向かいました。新宮速玉大社の南1kmのところの摂社の神倉神社があります。千穂ヶ峯の尾根先(120m)にあるゴトビキ岩がご神体です。鎌倉時代に源頼朝が寄進したといわれる538段の垂直に近い石段がゴトビキ岩まで続いています。ここに参拝して事実上の伊勢路歩きが終わりました。

当初、およそ130kmの伊勢路を完踏するつもりで計画をたてましたが、時間の制約のため交通量の多い国道(に転化した)区間などはオミットすることになり、歩行距離はかなり短くなりました。今回歩くことのできなかつた世界遺産区間と併せて、次の機会に再度挑戦できるこ



熊野速玉大社「満願なりました！」 写真提供：魚津清和

とを念願しています。

**【コースタイム】**

23日 大阪梅田07:00(バス)JR二木島駅10:57—11:46二木島峠—12:40逢神坂峠—14:26「波田須の道」案内板—15:24大吹峠—鬼ヶ城16:58(バス)17:10JR熊野市駅(旅館泊)  
 24日 旅館08:02—08:12獅子巖—8:29花の窟(バス)神倉神社10:10—10:21熊野速玉大社(バス)11:55熊野本宮大社—12:40産田社—13:00熊野本宮大社—13:45渡瀬温泉(バス)18:37大阪梅田

**【参加者】**

久保和恵 森沢義信 山内幸子 岩崎しのぶ 魚津清和 黒田守彦 戸島泰三郎 野村哲夫 松村文子 宗實慶子(会友)浅田博三 岐部明弘 黒岩敦子 小林三喜男 田中アキエ 蓮川博凡 播戸日出生 横山規江 計18名

**支部山行16-31 わんぱく探検**

11月27日(日)実施予定の「ほしだ園地」は、雨天により中止

**支部山行16-32 ゆるやか山行「里山探訪」**

歴史と文化を訪ねる38

**京都大文字山**

内田喜弘

**12月8日(木)**

JR山科駅からタクシー8台で藤尾神社へ。準備体操後、秦氏のリードでスタート。ルートは送電線の巡視路を辿るコースで尾根に出るまで急坂である。JAC京都・滋賀支部管理の「藤尾の森」で一息入れ、最初の鉄塔まで登ると落ち葉の尾根歩きになる。327mピークの左を巻き府県境尾根を西へ緩い登り下りが続く、樹間から音羽山、千頭岳を眺めながら、381mのコブから北へ辿ると峠、藤尾神社からの谷コースと合流して雨社大神に着き昼食。雨社大神の創祀は不明だが、『三井寺続燈記』に「嘉元元(1303)年 後二条天皇の勅により幸尊が祈雨祈祷を行った」と記されている。また、『都名所図会』に「竜王宮」が如意寺跡地にあると書かれ、『如意寺幅』に雨社祠の所に大きな池が描かれているが、今は祠の横に1㎡の水溜りがあるだけだ。

昼食後、大文字山の山頂へ、南側の開けた展望では西の半国山からポンポン山、鴻応山、大阪平野のあべのハルカス、生駒山が望めた。山頂には三角点とコンクリート製八角柱の菱形基線測点がある。大文字山、追分、花山天文台、新山浄水場の4点を結んだ菱形基線の4辺と



出発しまあ〜す！忘年山行の賑わい 写真提供：魚津清和

対角線から面積を測量して大地の変動を検出している。ここでは1969年、1970年、1981年の3回測量を実施されたが、注目されるような地殻変動はなかった。

山頂からは京都一周トレールを南へ辿り思案処、天の岩戸を潜り、日向大神宮へと下り、インクラインから京都地下鉄蹴上駅に到達して登山は終わった。その後は、忘年会の会場であるアバンティ地下の「歓」で親交を深めた。

#### 【コースタイム】

藤尾神社10:15—10:45藤尾の森—12:20雨社大神13:00—13:25大文字山—15:03七福思案処—15:40日向大神宮—16:02地下鉄蹴上駅

#### 【参加者】

久保和恵 山内幸子 岩崎しのぶ 魚津清和 上田典子  
内田喜弘 内田昌子 小黒節郎 瓦葺邦夫 薦田佳一  
嶋岡章 助川征 戸島泰三郎 野村哲夫 橋本圭之輔  
秦康夫 廣瀬健三 前田正彰 松波幹夫 森沢義信 山下政一 (会友)浅田博三 岐部明弘 小林三喜男 田中アキユ 中田栄 蓮川博凡 播戸日出生 横山規江 (会員外) 四手井靖彦 計30名

支部山行16-33 4000山グランプリ

四国 御在所山・鷲尾山

長瀬美代子

計画当初は千本山～甚吉森の予定だったが、登山口へ向かう林道が不通とのことで、2日前に急遽、行き先を高知の御在所山・鷲尾山に変更された。

12月17日(土)晴

関西支部会員5名と四国支部会員6名が徳島市内で待ち合わせ、四国支部会員の車3台に分乗して、まずは高知県香美市の御在所山へ。

気温5℃の肌寒いなか準備体操を済ませて、木馬茶屋前の駐車場から舗装路を歩き、無人の民家横から登山道に入る。道標には「四国百山 御在所山登山口 往復3時間」と書かれている。幾重にも積まれた石垣のある植林帯を抜けると、いったん森林管理道の舗装路が交差する蕪生山祇(にろうやまつみ)神社の鳥居前のベンチで小休止。ここからまだ標高差300m余り。鳥居さんをくぐり、江戸末期の石燈籠や狛犬の表情豊かな様子をカメラにおさめながら登る。途中「尻見坂」と名付けられた急登の石段を、息が上がらないペースでゆっくり登る。登山安全祈願所横の御手洗には氷が張り、日陰の登山道では昨日降った雪がうっすらと残っている。気温1℃の冷たい風が吹く山頂で小さな祠に手を合わせ、三角点(1079m)で集合写真を撮り、展望の良い北方を眺めて剣山系の山座同定をした。大山祇を祀る蕪生山祇神社にお詣りしたのち、来た道を約1時間で下る。

車に乗り込み、大荒の滝もみじ峡へ。時折冷たい風が吹き抜けるなか、紅葉の季節はさぞきれいであろう冬枯れの滝を眺めながら昼食休憩をとる。

再び車に乗り込み、途中立ち寄った蕪生の里・美良布直販店で箱買いした美味しい山北みかんをおやつに、高知市南西部の鷲尾山へ。烏帽子山直下にあるテレビ高知のテレビ塔横に駐車し、まずは石土神社の左奥に一等三角点標石が埋設されている烏帽子山(359m)に登頂。烏帽子山から鷲尾山へと伸びるよく整備された縦走路を30分ほど歩いて鷲尾山頂上(306m)に到着。以前から話には聞いていたが、鷲尾山からの眺望は本当に素晴らしく、眼下に高知市街地や浦戸湾、太平洋が見渡せる。来年2月に出場予定の高知龍馬マラソンのコースを眺めて、サボっていたランニングを再開しなければ…！と気合いを入れ直して往路を戻る。

高知市内のスーパーで夕食に土佐の幸、酒屋で地酒の



御在所山からの山座同定 写真提供：家段勝好



買い出しを済ませてから、本日の宿・松尾川温泉しらさぎ荘へ。源泉掛け流しの温泉にじっくりと浸かって冷え切った体が温まったら、大部屋でコタツを囲んで4000山GP忘年会のはじまり。日本酒・ワイン・シャンパンのボトルが物凄いスピードで空になり、夜も更けていく…。

**【コースタイム】**

大屋敷駐車場08:40—09:30鳥居—10:27御在所山—11:10鳥居—11:45大屋敷駐車場(自動車)鳥帽子山直下テレビ塔14:30—14:35鳥帽子山—15:05鷲尾山15:19—15:51鳥帽子山直下テレビ塔

**【参加者】**

重廣恒夫 橋本圭之輔 久保和恵 山内幸子 岡田輝子(以上関西支部) 尾野益大 森山宏昭 瀧由喜子 小林京子 家段勝好 長瀬美代子(以上四国支部) 計11名

※翌日は開店早々の「うどん さぬきや」に一番乗りし、おすすめの釜揚げうどんに天ぷらやおでんをお供にいただいてから四国支部ルームで開催された「ナンガマリⅡ峰登頂報告会」に合流した。

**支部山行16-34 県境縦走45  
上切原～大森山～竹筒～九重～新宮**

若林朋世



新宮の海岸にて日本海の海水を流す 写真提供：重廣恒夫

**12月23日(金) 小雨後晴 強風**

前日から新宮入りしたが、雨風が強く最終の「くろしお」は徐行運転で大幅に遅れ、日付が変わっていたので睡眠不足で集合場所に行く。タクシーで上切原の上ノ谷林道に入り行けるところまで行く。野村さんは足の調子が悪く、乗ってきたタクシーで引き返す。目指す赤い橋は崩れかけて谷に落ちている。橋を何とか渡り対岸に取り付き、巡視路を通り県境稜線に出る。縦走路は歩き易い道であるが風が強い。マイクロウェーブやP738、五大尊岳分岐、切畑辻を越え、三等三角点「大水ノ森1045m」から頂上標識のある大森山に到着。P1008、P975

を越えて昼食を摂る。午後は風が少し弱まる。大平多山、三等三角点の甲森から急な下降で林道に出たところにテントを張る。近くに水量は多くないが細流があり取水できた。夕飯をすませると直ぐに爆睡。

**12月24日(土) 晴**

4時起床。星空が綺麗に見えている。三日月に見守られ歩き出す。P608を越えた辺りで日の出を拝む。1時間近く歩き、四等三角点金属標の「竹筒」に到着する。最後の下りは巡視道があったので難なく国道に出た。九重郵便局まで歩き、タクシーで新宮に出て太平洋に日本海からリレーしてきた水を流す。

**【コースタイム】**

23日 新宮駅06:00=上ノ谷林道降車点07:28—07:48赤い橋—09:50稜線—10:01P738—10:35切畑辻—11:09P868—11:45大水ノ森—12:01大森山—12:22P1008—13:05大平多山—13:52甲森—15:19林道

24日 テント場05:51—06:27P608—07:30竹筒—08:24国道169号—09:25九重郵便局=10:55太平洋

**【参加者】**

重廣恒夫 久保和恵 黒田記代 松仲史朗 村田かおり 茂木完治 山内幸子 若林朋世 計8名

※本山行で奈良・和歌山県境を縦走し太平洋まで到達しました。引き続き奈良・三重県境を縦走して太平洋に向かって歩きます。皆様の参加をお待ちしています。

**支部山行16-35 陽だまり山行  
黍田富士～金剛山～山津屋**

橋本圭之輔

**1月6日(金) 曇後晴**

朝は曇だが午後には晴れの予報。JR竜野駅に集合し、登山口のヤッホの森で準備体操の後、黍田富士に向かう。頂上へ直接向かう尾根は岩があり最初の登りがきついで、頂上南のコルに出る緩やかな整備された道を歩く。予報通りの晴天になりコルから展望台と幸せの鐘のある黍田富士頂上を往復する。

展望を楽しんだ後、古墳の残る金剛山に向かう。さらに南下して亀石との分岐を東に進み三等三角点・山津屋(193.3m)をピストンし亀石へ。これらのピークはなだらかな傾斜で繋がり稜線には無数の墳墓の遺跡がある。

亀石からは下で待っているはずのイノシシ鍋に誘われて下る一方だ。ヤッホの森では佐々木さんと大和さんが料理してくださったシシ鍋がタイミングよく出来上がった



黍田富士にて 写真提供：前田正彰

ており、播州のお酒で乾杯後おいしく頂いた。

須磨岡さんの話によると太古の昔はこれらのピークの麓まで海になっていたところなので、標高は低いが見晴らしが良く、遠くの笠形山、明神山まで遠望することが出来る

落葉が美しく残っていた。高取山を下りて、源平町、鴨越駅など、源平合戦ゆかりの地名を持つ街並みを通り抜けた。

ここからは私が今回の山行で一番きついと予想していた菊水山への登り。30年前には急斜面を這うように登ったが、今は階段が設置され登りやすくなっていた。それでも山頂着は予定より遅れる。ご家族と約束があった前田さんは、ここから鈴蘭台駅へ下山。残る6名で菊水山を下り、有馬街道を跨道橋で越えて、鍋蓋山山頂に着くと17時を回っていた。予定のルートを変更して大龍寺から大師道を下山し、下山手通で元町組と三宮組に分かれて解散。

24km、11時間近くの雨中山行は私にとって初めてでした。体力の消耗が激しいメンバーも居て、パーティーとしての一体行動の大切さも学ばせて頂きました。帰宅後の風呂の気持ちよかったこと。引き続き宜しくお願い致します。

のだそうです。

まさに「陽だまり山行」に相応しい一日でした。

#### 【コースタイム】

JR竜野駅09:40—09:55ヤッホの森10:10—10:26コルー—10:37  
黍田富士10:50—11:12金剛山—11:38山津屋—12:02亀石—  
12:35ヤッホの森14:10—14:25JR竜野駅

#### 【参加者】

須磨岡輯 山内幸子 新本政子 岩崎しのぶ 浦上芳啓  
岡田輝子 金井健二 金井良碩 嶋岡章 戸島泰三郎  
橋本圭之輔 前田正彰 宗實慶子 森沢義信 (会友)浅  
田博三 岐部明弘 蓮川博凡 横山規江 黒岩敦子  
(サポート)佐々木正夫 大和絃 計21名



旗振山から見た明石海峡大橋 写真提供：阪上茂生

#### 【コースタイム】

須磨浦公園駅08:45—09:30旗振山—09:45鉄拐山—10:35梅  
尾山—11:10横尾山—13:10高取山—14:20鴨越駅—15:40菊  
水山—17:10鍋蓋山—19:20三宮駅

#### 【参加者】

山内幸子 宗實二郎 辻和雄 小黒節郎 前田正彰 水  
谷透 (準会員)阪上茂生 (会友)若林朋世 黒岩敦子  
計9名

支部山行16-36 しっかり歩こう

六甲金山縦走その1

須磨浦公園鉢伏山から市ヶ原まで

阪上茂生

1月8日(日)雨

集合場所の須磨浦公園駅を降りると小雨が降る中、雨具を着て出発。鉢伏山から旗振山(252.6m)まで一気に登ると、明石大橋まで見渡すことができた。鉄拐山、梅尾山を経て横尾山を越えると、須磨アルプスのダイナミックな岩場に出た。景観を楽しみながらも足元に注意して下り、横尾住宅街の公園で昼食。水谷さんと黒岩さんは、ここから妙法寺駅を経て下山。7名で高取山へと登った。高取山の三角点(312.8m)は神社の敷地内に有り、

16-37 4000山グランプリ

赤石ヶ岳

松波幹夫

1月14日(土)雪

山行記を書く前に改めて技術の修得の大切さを痛感さ





赤石ヶ岳山頂にて 写真提供：重廣恒夫

せられた。メンバーの知識、体力、経験、技術、装備、山に求めるもの、登山スタイル、思い入れ、趣味などが様々だということ。しかし、山に入る時には自立した登山者でなければならない。本人も先輩や本、雑誌などを通じて勉強し、先輩も暖かく協力、指導する。実際の山行を通じて経験を重ね、体力・知識・技術などをスキルアップする。全員無事にケガなく下山する事。メンバーシップ等、未だ学ぶべき事の多い山行だった。

大江山連峰は南から赤石ヶ岳、千丈ヶ嶽、鳩ヶ峰、鍋塚と東部に連なり宮津に接し、西方は赤石ヶ岳から連なる江笠山から北西に権現山と続く丹波高原(西部)にある。今回はその中の赤石ヶ岳・大江山をめざした。

三田を過ぎた辺りから雪が降り出していた。福知山からタクシーに乗り与謝峠を越え山河集落でタクシーを降りる。夜半から降り出した雪で轍が辛うじて見える状態の林道を加悦双峰公園に向かう。途中降雪で脱出出来なかったとみられる車があった。双峰公園の東屋で小休止。装備を整え千丈ヶ嶽と赤石ヶ岳分岐を目指す。雪と風が酷くなる一方だ。分岐(560m)に荷物をデポし、途中雪で隠れた穴に足を取られるなど悪戦苦闘、雪面に亀裂が走りずれているのを横目で見ながら交代でラッセルし赤石ヶ岳を目指す。高度が上がるにつれて積雪量が増え歩行速度が緩やかに。赤石ヶ岳山頂(736.13m)に着くが風雪が激しく視界は無し。登ってきた道を引き返すがラッセルした跡も、デポしていたザックも雪で埋もれていた。双峰公園で幕営。

#### 1月15日(日)雪

4時に起床。昨夜のお湯の残りが凍っていた。朝食を済ませ荷造りし、サブザックに必要装備を詰めて暗い中を千丈ヶ嶽に向け出発。しばらく進むも積雪量が多く雪がとても重いなどリーダーの判断により千丈ヶ嶽への登頂を断念し、昨日タクシーを降りた山河集落に引き返す

ことになった。しかし、林道もしっかり雪が積もりラッセルを強いられる。与謝バス停に着き、タクシーで福知山に向かった。

日本山岳会編『新日本山岳誌』、北は択捉・国後などの北方四島の山から、南は西表・石垣などの南西諸島の山々まで日本全国の約4000山が網羅されています。残念ながら、今回「千丈ヶ嶽」の登頂は出来なかった。

#### 【コースタイム】

14日 山河集落10:18—11:51加悦双峰公園—12:34分岐—14:38赤石ヶ岳—15:22分岐—16:25加悦双峰公園

15日 加悦双峰公園04:25—08:33与謝バス停

#### 【参加者】

重廣恒夫 村田かおり 立野里織 松波幹夫 計4名

#### 16-38ゆるやか山行「里山探訪」

歴史と文化を訪ねる39

雄岡山・雌岡山

播戸日出生

1月19日(木)晴

数日前からの寒波の襲来で、吹雪くのではと心配され

## 平成29年度 関西支部総会のご案内

日時 平成29年4月26日(水)午後6時30分

場所 TKP大阪梅田駅ビジネスセンター 6階  
大阪市北区堂山町17-13梅田東宝ビル  
JR大阪駅：御堂筋南口より徒歩5分

議事 ①平成28年度 活動報告、会計報告

②関西支部規約改定

③新役員および監事の選任

④平成29年度 活動計画、予算

懇親会 午後7時30分より 会費5,000円

\*4月12日(水)までに同封のハガキに52円切手を貼付のうえ出欠をご返事ください。



たが、幸いにも天候に恵まれ快適な山歩きが出来ました。

神戸電鉄粟生線緑ヶ丘駅改札前に集合。駅から10分程で「雄岡山(おっこさん)」登山口に到着、久保リーダーの号令の下、柔軟体操・ストレッチで身体をほぐし、雑木林の中のゆるやかな登山道を登りほぼ30分で山頂に到達。雄岡山山頂(241.2m)には帝釈天を祀る小さな石の祠あり。「一等三角点」もあり。平安時代、平清盛が兵庫に港を開いたときはこの雄岡山を航路の標識にしていたと云われているとのこと。

この山頂から更に西に下ると約15分程で雌岡山(めっこさん)の登山口。登山口からゆるやかな坂道を少し歩くと梅林(雌岡山梅林)があり、播州平野を見下ろし多くの農業用ため池が見られ、更に少し登ると木々が茂る神出(かんで)神社の境内に着く。各自、この神社に参拝。ここが雌岡山の山頂(249m)。山頂からの南方向の見晴らしがよく、当日は少し霞んでいたが瀬戸内海、淡路島、垂水、舞子、明石大橋、兵庫、神戸が望まれた。

境内での昼食あと、裏山に祀ってある雄神さま(男性シンボル)と雌神さま(割れ目岩)に参拝し、出発点の緑ヶ丘駅前に全員無事戻る。神々様にも出会えた実がありがたい日でした。

### 【コースタイム】

緑が丘駅10:46—11:22雄岡山山頂—11:51大皿池—11:56金棒池—12:30雌岡山山頂13:16—13:25裸石神社—15:51愛宕山—16:02緑が丘駅

### 【参加者】

久保和恵 魚津清和 浦上芳啓 岡田輝子 金井健二  
黒田守彦 薦田佳一 嶋岡章 助川征 戸島泰三郎 中島隆 藤本三樹雄 前田正彰 松波幹夫 松村文字  
(会友)浅田博三 岐部明弘 黒岩敦子 小林三喜男 田中アキエ 中田栄 播戸日出生 横山規江 計23名



雌岡山 神出神社で初詣 写真提供：魚津清和

## 本山寺山森林づくりの会活動報告

斧田一陽

### 平成28年10月6日(木)

台風18号の影響で、太い枯れ枝が倒れていた。いずれ伐木をと考えていた枯損木なので、少し手間が省けたことになった。物置近くの作業道を塞いでいたので優先的に整理した。その後、保安林に移動して倒木の処理や枯損木の伐採をした。急斜面で足場が悪いので、苦勞しながら安全に気をつけて慎重に作業を終えた。午後から3名は、次回の植樹予定適地の調査も実施した。

【参加者】 河野直子 武田壽夫 中村賢三 秦康夫 宮本廣 杉本佳英 斧田一陽 計7名

### 平成28年10月16日(日)

本日は、4班に分かれて作業をした。1班と2班は、前回に引き続き保安林の倒木処理と枯木と枯れ枝を伐採する。掛かり木になっていた太い枯損木をロープや木回し器を使って片付けたが、手間と腕力を要した。3班は、南の溪流上流部の崩壊・陥没地の保全作業が、我々の手でも可能かどうか調べた。専門的な知見を持つ会員の話によると簡易柵や土木作業でなんとかかなりそうなの

で、次年度に実施計画を組む予定とする。4班は、午後からモミの植樹候補地を調査した。

【参加者】 猪川誠 斧田一陽 小櫃徹夫 倉谷邦雄 黒山泰弘 後藤和子 武田壽夫 秦康夫 丸山喜代司 宮本廣 計10名

### 平成28年11月3日(木・祝)

第一物置と第二物置の中間地に簡易テーブルを設置し直すことになり、工作好きの2名が意外に立派な形で完成させた。一同歓声をあげて労をねぎらった。残りのメンバーは、保安林の枯木を伐倒するが、慣れてきたこともあり掛かり木になることも少なく20本近くを処理した。林床は随分と明るくなった感じがした。

【参加者】 石原順子 薦田佳一 後藤和子 武田壽夫 秦康夫 宮本廣 斧田一陽 計7名

### 平成28年11月20日(日)

育樹していたモミをギャップ地に植樹して、この森林の特徴であるモミ優先の森の保全に役立てることにして



いるが、その植樹の仕方を1班は学んだ。A層は除外してB層を使い、水みちには植えない。被土は水鉢状にしないで軽く踏む程度にするなど基本を学び、試験的に3本植える。次回に全員で本格的に植樹することにした。2班は、体験作業者に作業指導しながら、保安林の林内を整備した。3班は、植生観察と林内調査し、午後は4班に合流した。4班は、保安林の枯損木を伐採した。これで保安林内の人工林部分を除き、林床整備はほぼ完了となった。

【参加者】 武田壽夫 黒山泰弘 猪川誠 丸山喜代司  
石原順子 久保和恵 斧田一陽 秦康夫 宮本廣 薦田佳一  
計10名 体験参加1名

#### 平成28年12月1日(木)

全員でモミの植樹を行う。倒木跡のギャップを中心に、前回学習した方法で植樹した。シカ除けのために枯枝などで簡易杭を作り、周りに杭打ちして幅広テープで進入除けを施したが、効果のあることを期待したい。案外時間がかかり、広葉樹の植樹は次回に行うことにした。

【参加者】 武田壽夫 石原順子 薦田佳一 秦康夫 斧田一陽  
計5名

#### 平成28年12月18日(日)

広葉樹15本を東海自然歩道沿いの尾根筋に植樹して、将来樹種豊かな尾根歩きができる森を期待することにした。コナラなど比較的落葉広葉樹の多い一帯だが、もう少し広葉樹が優先する尾根筋をと願っている。イヌブナも自生しているので増やしたいところだが、今回の植樹には含まれていないのが残念である。全て1本植にしてシカ除簡易柵も設置したので、折に触れて経過観察を続けたい。

本山寺山北面の溪流調査をしてきた3人組は、午後から合流した。その後、高槻の美人の湯で納山会を開催した。  
【参加者】 猪川誠 後藤和子 石原順子 斧田一陽 小櫃徹夫 秦康夫 金井良碩 薦田佳一 辻和雄 茂木完治  
計10名 体験参加2名

### 第20回森の勉強会報告

斧田一陽

関西、東海、京都・滋賀支部自然保護委員会共催の森の勉強会の最終回は、平成28年11月5日(土)・6日(日)と奈良県桜井市の与喜山暖帯林を中心に、関西支部主管で開催した。

初日は、長谷寺温泉の井谷屋で大阪産業大学大学院教授・前迫ゆり氏(人間環境学研究科)による照葉樹林のシカを巡る生態について最新の研究成果を含めた講義を受けた後、近くの愛宕山から与喜天満神社にかけての温暖林について先生の説明を受けながら自然観察した。

夜は、今までの森の勉強会の思い出などに花が咲き、川口章子自然保護委員長の参加もあり、懇親を深めた。また、今後の活動についての検討も行い、相互に自然観察の情報を交換して交流を続ける方向が確認された。

翌日は、国の天然記念物に指定されている与喜山暖帯林の自然観察を行った。低い地域のイチイガシ林、高い地域のツブラジイ林を主とする美林を堪能できた。天神山からまほろば湖に下り、長谷寺の仁王門近くで解散した。

【参加者】 金井良碩 松波幹夫 森脇肇子 石原順子 田島聖子 阪下幸一 松村文字 斧田一陽 秦康夫 川田日出子 関西支部関係10名 東海支部9名 京都・滋賀支部1名 群馬支部1名 首都圏1名 計22名



## 自己紹介(皆さんよろしく)

竹森壮孝(会員番号16035)

はじめまして、竹森壮孝と申します。長崎の田舎に生まれ、現在は奈良の法隆寺近郊に住んでおります。本年3月のベトナム最高峰ファンシーパン山行の際、日本山岳会関西支部の方々とお会いし、入会する機会をいただくことができました。

年々、体重が増加する一方、それに反比例して国内のハードな山行をおこなう機会が少なくなっております。

た。この入会を機にたるんだ体に鞭を打って、雪山やスキー、沢登り、岩登りなど様々な分野にチャレンジしていきたいと思っています。今後ともよろしく願いいたします。(たけもり・まさたか 2016/11/2受)

永野彰一(会員番号16077)

金井良碩様、中村久住様からご紹介いただき、2016年9月に入会いたしました。よろしく願いいたします。

1957年兵庫県姫路市生まれで、住居・勤務先ともに姫路市内です。登山は、姫路徒歩会(兵庫県山岳連盟加盟団体)での山行が中心ですが、大阪府山岳連盟パーソナル委員会にも所属しています。

これからは、本会でも活動したいと思っておりますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

(ながの・しょういち 2017/01/31受)

## スケッチ同好会 例会の報告とご案内

### 第17回【案内】

日時 平成29年5月7日(日)～10日(水) 3泊4日

集合 各地(未定)

行先 穂高～白馬山麓 スケッチ街道

宿泊 安曇野パストラルYH

交通 公共交通機関または乗用車利用

費用 約30,000円(宿泊費+交通費+雑費)

持ち物 水彩画を主とする画材一式、カメラ、折り畳み椅子、雨具、防寒具、ヘッドランプ、ストック、宿泊グッズ、嗜好品など

申込み 平成29年4月8日(土)迄 久保和恵

e-mail : unclertorys05-kazu@nifty.com

電話 079-565-0530 / 携帯 090-6960-9998

備考 詳細は参加申込者に連絡

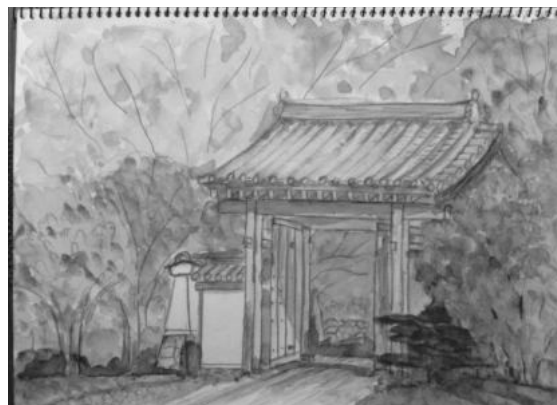
※登山のみを目的とされる方はお世話いたしかねますので、ご了承ください。

### 【報告】第14回

日時 平成28年11月7日(月) 10:00～15:00

行先 池田城跡公園

【参加者】野村哲夫 浦上芳啓 大塚和子 金井良  
碩 久保和恵 小寺佳美 薦田佳一 播  
戸日出生 松上美代子 松村文子 横山  
規江 計11名



紅葉の池田城跡公園にて 画：横山規江





Room日録 2016・2017年

<2016年>

- 11月9日(水) 図書委員会  
水曜会
- 12日(土) 支部事務業務
- 15日(火) 海外登山隊会計打合せ
- 16日(水) 広報委員会  
財務委員会
- 18日(金) 支部事務業務
- 21日(月) 郵便物到着確認
- 22日(火) 海外登山隊書類整理

- 11月22日(火) 図書委員会  
支部委員長会議
- 28日(月) 規約改正 P J
- 12月5日(月) 『新日本山岳誌』稿料  
点検  
登山教室座学打合せ
- 8日(木) 郵便物到着確認
- 12日(月) 支部事務業務
- 14日(水) 支部報発送  
水曜会
- 15日(土) 規約改正 P J
- 19日(月) 財務委員会

- 21日(水) 募金委員会
- <2017年>
- 1月6日(金) 自然保護委員会
- 10日(火) 水曜会準備
- 11日(水) 水曜会
- 18日(水) 図書整理作業  
支部報編集委員会  
財務委員会  
委員長会議
- 21日(金) 支部事務業務
- 23日(月) 規約改正 P J
- 24日(火) 財務委員会

受贈一覧

(2016.11.1~2017.1.31受理分)

- クビ・ツェンボ源流域学術登山隊報告  
同志社大学山岳会
- 古写真から紐解く六甲山地東お多福山  
草原の移り変わり 東お多福山草原  
保全・再生研究会
- 山岳おおさか No.211(別冊共) 大阪  
府山岳連盟

- 登山月報 第572,573号 日本山岳協会
- パトニーヴェイルからの風:ウェストン祭記  
念講演集;続巻 日本山岳会信濃支  
部
- 兵庫山岳 第595号 兵庫県山岳連盟
- 山その大いなる旅; II (DAC報告;第  
26号) 同志社大学山岳部・山岳会
- 山と人 21号 神戸大学山岳会
- 日本山岳会支部報
- ・秋田山岳 No.103

- ・宮城山岳通信 第7号
- ・埼玉支部報 第19号
- ・千葉支部だより 第37号
- ・[東京]たま通信 第26号
- ・[山梨]支部通信 第3期 第1号
- ・東海支部報 No.148
- ・[京都・滋賀]支部だより No.125
- ・JAC Hiroshima 第62号
- ・宮崎支部報 第59号



## 2017年度4月～6月 支部山行計画

※申込みは、最後尾の宛先に行ってください【いずれも締切厳守】

### 17-1 しっかり歩こう

「北摂の山 高岳720.7mから三草山564m」  
 日 時：4月1日(土)  
 コース：杉生新田—高岳—猪名川不動尊—中山峠—牛  
 の子山—滝王山—三草山—森上  
 集 合：日生中央駅 8時50分  
 9:01発 後川行バス乗車  
 地 図：2.5万分の1「木津」「福住」「妙見山」  
 備 考：地図を見ながら約23km8時間程度で歩きます  
 小雨決行 ただし、荒天時は2日(日)に順延  
 帰宅時間が遅くなります コース変更する場  
 合もあります

申込み：3月23日迄(担当：山内幸子)

### 17-2 関西支部県境縦走48

日 時：4月15日(土)・16日(日)  
 コース：前月の進捗状況によりコースが決まります  
 HP等で確認してください  
 備 考：詳しくは申込者に連絡します  
 申込み：4月2日迄(担当：黒田記代)

### 17-3 ゆるやか山行 東海自然歩道を歩く1

「箕面から泉原」  
 日 時：4月20日(木)  
 コース：箕面駅—箕面ノ滝—政ノ茶屋—開成皇子墓—  
 勝尾寺—府道出合—泉原  
 集 合：阪急箕面駅改札口前 8時30分  
 地 図：2.5万分の1「広根」「高槻」  
 備 考：歩行距離約13.5km 歩行時間約5時間  
 申込み：4月13日迄(担当：久保和恵)

### 17-4 ロープワーク講習

「初心者のためのロープワーク」  
 日 時：4月22日(土) 14:00～17:00頃  
 場 所：支部ルーム  
 持ち物：お持ちのロープ、シュリング、カラビナ、ハー  
 ネス等  
 備 考：初めてロープを購入した方、ロープの束ね方  
 が分からない方、ハーネスやウエストベルト  
 の使い方、ロープのつけ方の分からない方が  
 対象の机上講習です  
 申込み：4月15日迄(担当：黒田記代)

### 17-5 比良山系を歩く

「白滝山 1,022m」  
 日 時：4月23日(日)  
 コース：堅田駅=坊村—伊藤新道出合—わさび大滝—  
 白滝山—音羽池—森山岳—蓬萊山—打見山  
 (ロープウェイ)山麓駅=志賀駅  
 集 合：JR堅田駅改札口前 8時40分  
 地 図：2.5万分の1「花背」「比良」  
 備 考：歩行距離約12km 歩行時間約5時間30分  
 昨年11月19日中止山行のリベンジです  
 申込み：4月15日迄(担当：久保和恵)

### 17-6 4000山グランプリ

「拳原山946mから水葉山891m」  
 日 時：4月29日(土)・30日(日)  
 コース：金沢駅=犀川ダム—拳原山—水葉山—熊走—  
 金沢駅  
 地 図：2.5万分の1「鶴来」  
 備 考：詳しくは担当者に問い合わせてください  
 難易度の高い山 テント山行 一般参加可  
 山岳保険加入が必須  
 申込み：4月16日迄(担当：重廣恒夫)

### 17-7 しっかり歩こう

「摂津峡からボンボン山・小塩山・南春日町へ」  
 日 時：5月7日(日)  
 コース：高槻駅=下の口—神峯山寺—本山寺—ボンボ  
 ン山—小塩山—南春日町  
 集 合：JR高槻駅北バス乗場 8時25分  
 8:35発バス乗車  
 地 図：2.5万分の1「高槻」「法貴」「京都西南部」  
 備 考：地図を見ながら約25kmを歩きます

17年度 関西支部海外トレッキング インドネシア  
 「ジャワ島最高峰スメル山3676m登頂とイジェン火山」  
 日 時：8月30日(水)～9月7日(木)9日間  
 コース：スラバヤ=ラヌパニ～ラヌクンボロ～スメ  
 ル山登山～ラヌパニ=プロモ山展望・ハイキ  
 ング=青い炎揺れるイジェン山ハイキング  
 申込み：アルパインツアーサービス会社  
 Tel：06-6444-3033  
 担 当：大島、竹森

雨天決行、コース変更する場合があります

申込み：4月30日迄(担当：山内幸子)

**17-8 関西支部県境縦走49**

日 時：5月13日(土)・14日(日)

コース：前月の進捗状況によりコースが決まります

HP等で確認してください

備 考：詳しくは申込者に連絡します

申込み：5月2日迄(担当：黒田記代)

**17-9 ゆるやか山行 東海自然歩道を歩く2**

「泉原から竜王山510m」

日 時：5月25日(木)

コース：茨木駅＝泉原一忍頂寺一宝池寺一竜王山一穴  
 仏一清水廃寺一車作

集 合：JR茨木駅改札口前 8時10分

地 図：2.5万分の1「高槻」

備 考：歩行距離約13km 歩行時間約5時間

申込み：5月18日迄(担当：久保和恵)

**17-10 4000山グランプリ**

「松尾山1163mから笠山865m」

日 時：5月27日(土)・28日(日)

コース：金沢駅一鶴来駅一セイモアスキー場一松尾山  
 一笠山一鶴来駅

地 図：2.5万分の1「口直海」「市原」

備 考：詳しくは担当者に問い合わせてください

一般参加可 山岳保険加入が必須

申込み：5月17日迄(担当：重廣恒夫)

**17-11 関西支部県境縦走50**

日 時：6月3日(土)・4(日)

コース：前月の進捗状況によりコースが決まります

HP等で確認してください

備 考：詳しくは申込者に連絡します

申込み：5月20日迄(担当：黒田記代)

**17-12 ゆるやか山行 東海自然歩道を歩く3**

「ポンポン山678.9m」

日 時：6月15日(木)

コース：高槻駅＝上の口一神峯寺一本山寺一ポンポン  
 山一釈迦ヶ岳一杉谷一金蔵寺一南春日町

集 合：JR高槻駅改札口前 8時30分

地 図：2.5万分の1「高槻」

備 考：歩行距離約13km 歩行時間約5時間

申込み：6月8日迄(担当：久保和恵)

**17-13 4000山グランプリ**

「鈴ヶ岳1175mから大日山1368m」

日 時：7月1日(土)・2日(日)

コース：小松駅一新保町一鈴ヶ岳一大日山一小大日山  
 一真砂一山中温泉

地 図：2.5万分の1「加賀丸山」「北谷」「龍谷」

備 考：詳しくは担当者に問い合わせてください

**水曜会のご案内**

水曜会は従来、新入会員に呼びかけて開催してきましたが、新年度より対象者を絞らず、支部会員・会友およびその知人まで拡げて開催することにします。

最近の山行等について、持参した茶菓等(アルコールOK)をつまみながら気楽に語らう場にしたいと考えています。話題提供として撮影データなどを持参していただければ、なお結構かと思えます。

【会 場】 支部ルーム 18:30～

【開催日】 5月10日(水)、6月7日(水)

\*日程の変更もありますので、事前に申込み先宛、開催日時を確認のうえお申し込みください。

【申込先】 水谷 透 jacmztn@yahoo.co.jp

【報 告】 11月9日 あなたの知らない山岳画の世界 10名  
 12月14日 アピ、サイバル、エベレスト 9名  
 1月11日 本山寺山の沢、台湾の沢 6名

**スケッチ同好会  
 第2回グループ展開催のご案内**

会 期 平成29年4月24日(月)～27日(木)

9:30～17:30

(24日 13:00～、27日 ～16:00)

場 所 大阪市立総合生涯学習センター

ギャラリーA

(大阪駅前第2ビル5階 ☎06-6345-5000)





難易度の高い山 テント山行 一般参加可  
山岳保険加入が必須

申込み：6月20日迄(担当：重廣恒夫)

**各山行は**

担当委員もしくは支部宛にお申し込みください

e-mail: kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp

**ステップアップ登山教室 一般対象 募集中**

**1stステップ**

初級『地図とコンパスの使い方の習熟』

4月6日(木) 安全・快適トレッキング(座学)

4月23日(日) 六甲白石谷～東六甲縦走路

6月24日(土) ほしだ園地～むろいけ園地

7月22日(土) 細尾谷～金剛山～セト～黒梅谷道

中級『沢歩き』

4月6日(木) 安全・快適登山術(座学)

5月16日(火) 摩耶東谷～麻耶山～山羊戸渡

6月13日(火) 赤子谷～岩原山～ナガモッコク尾根

7月4日(火) 逢山峡～長尾谷～猪ノ鼻滝

上級『岩登り・沢の初歩・雪山の初歩』

4月6日(木) 安全・快適登山術・岩登りの基礎知識(座学)

5月25日(木) 蓬莱峡周辺

6月29日(木) 百丈岩周辺

7月27日(木) 不動岩周辺

**2017年4月～6月 自然保護行事案内**

**1 日本山岳会関西支部本山寺山の森(本山寺山森林づくりの会活動)**

活動日：4月6日(木)・16日(日)・5月4日(木・祝)・21日(日)・6月1日(木)・18日(日)

**2 東お多福山ススキ草原復元活動**

・4月8日(土) 春のネザサ体験刈払作業指導 登山道保全活動

・5月24日(水) 春の植生調査と観察 登山道保全活動 選択的刈払

※東お多福山草原生物多様性ガイド養成講座 (全6回 6/17～12/2 兵庫県神戸県民センター主催)

**3 自然観察会**

・5月24日(水) 東お多福山草原の春の自然観察

**4 やまみち巡視保全活動**

・5月21日(日) 「本山寺山の森」自然歩道  
・5月24日(水) 東お多福山芦屋登山道

**問い合わせ・申込み先**

斧田一陽 TEL&FAX 072-633-6556 / 090-4037-4542

※締切：開催日の一週間前まで

※集合：本山寺山の森 JR高槻駅北口アルプラザ前  
東お多福山 阪急芦屋川駅前

いずれも午前8時50分

**〈編集後記〉**

☆ナンガマリ登山から帰国して、はや4カ月が経とうとしています。報告会でも申し上げましたが、支部会員皆様のご声援と援助に、この場を借りて、あらためて御礼申し上げます。

☆昨年末に登ってきた八ヶ岳阿弥陀岳で遭難があり、大学生1名が亡くなりました。安全登山はもちろんですが、危ないと言っているのは、登山という行為そのものも成り立たない。経験値や技術が上がっても、次のステージでまた新たなリスクがあります。リスクマネジメントはとかく尽きせぬ課題です。(加藤)

発行日 2017(平成29)年3月10日  
発行所 〒530-0015 大阪市北区中崎西1-4-22 梅田東ビル3階 304号室  
公益社団法人日本山岳会関西支部  
e-mail: kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp  
郵便振替口座 00930-6-55950  
発行者 金井良碩  
編集 加藤芳樹 久保和恵 野口恒雄  
制作 株式会社 双陽社 大阪市北区堂島2-2-28

**FITS** **「快適・気持ち良い、疲れにくい！」**  
**厚手／ヘビーラグドブーツ**  
**¥2,600 (税抜)**  
made in the U.S.A.

**フィット感 抜群!**

中厚手／ミディアムハイカークルー 全7色 ¥2,760(税抜)  
中厚手／ミディアムラグドクルー 全3色 ¥2,300(税抜)

ケンコー社 TEL : 06-6374-2788  
http://www.kenkosya.com

山岳  
雑誌

# 岳人

毎月  
15日  
発売

山と人、時代をつなぐ山岳雑誌「岳人」

## ▶年間購読がおすすりめです

購読割引 送料無料 限定品プレゼント

お得な価格で毎月お手元に冊子をお届けします。

通常価格12冊

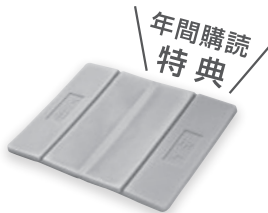
年間購読なら12冊

8,160円 → 7,480円

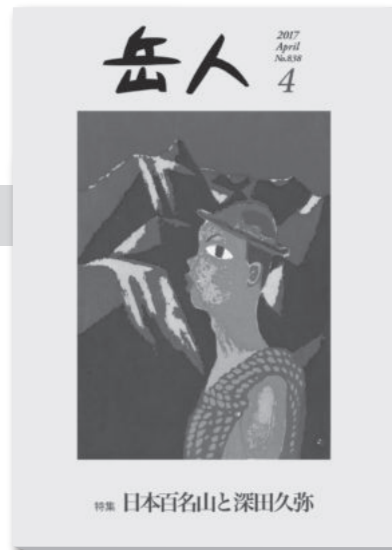
(税込8,812円)

(税込8,078円)

1冊分  
680円  
おトク!



座布団として使える!  
折り畳みパッドプレゼント  
サイズ:縦33×横26cm / 重量:33g



年間購読お申し込み方法 WEB <http://www.gakujin.jp> モンベルポスト ☎0120-982-682 / TEL 06-6538-5797 モンベルストアでも受付中

※フリーコールは携帯・IP電話からはご利用いただけません。

〒606-8161  
京都市左京区一乗寺木ノ本町15

## ナカニシヤ出版

TEL 075-723-0111  
FAX 075-723-0095

表示は本体価格です。

日本山岳会 110周年記念出版



## 改訂新日本山岳誌

菊判 2016頁 写真・地図多数 上製クローズ装・函入り  
日本山岳会編著 18,000円  
日本山岳会が脚で調査した、日本全国四〇〇〇山の最新情報を網羅した山岳百科事典を10年ぶりに改訂。地形や登山道の変化、地名変更、標高数値などを改訂。



## 京都府山岳総覧

京都府の339の山を実地踏査して、登路を含めて解説。主な山には概念図・写真を加えた、京都の山の最も詳しい案内書。カラー口絵写真、標高100m以上全三三三点を掲載。

京都府339山案内 内田嘉弘・竹内康之 編著

A5判 272頁  
口絵カラーほか  
写真・地図多数  
2,200円



## 大阪の山歩き100

A5判 184頁  
オールカラー  
写真・地図多数  
1,800円

大阪の山々はそれぞれに歴史があり、個性に富んでいる。バスや電車を利用して家族づれで登れるコースばかり、一〇〇山、一〇〇コースを選んだウォーキングガイド。

街中から気軽に楽しむ山歩きガイド 清水 満著



## 雪山を愉しむ

草川啓三 著  
A5判 144頁  
カラー写真・地図  
多数  
1,800円

スキーやスノーシュー・ワカンでの雪山登山の魅力写真と地図で紹介。コース概要・コースタイム・アプローチ・アドバイスを加えた、愉しき雪山登山の実践的ガイド。

## 【山旅専門の旅行会社 アルパインツアー】おすすめツアーのご案内

### ソウルの名峰・北漢山登頂と ツツジ咲く十二城門周遊トレッキング 4日間

ゴールデンウィーク特別企画。ツツジ咲く美しい春に韓国の名峰北漢山でトレッキングを楽しみましょう!

【旅行期間】5/5(金)~5/8(月)

【旅行代金】¥196,000 (大阪発着) ▲白雲台(バグンデ)を目指す



### 【大阪発着】太平洋に浮かぶ世界遺産の島の自然に触れる山旅 秘境・小笠原諸島ハイキング 6日間

【出発日】4/15(土) 【旅行代金】¥208,000

★新大阪発着で世界遺産・小笠原諸島へ。自然豊かな母島の乳房山や父島の躑躅山をハイキングします。

### ポーランド最高峰リシヤ山登頂と 世界遺産の古都クラクフ、ワルシャワ 8日間

ポーランドとスロバキアの国境稜線へ出ると美しい景色が広がり、最後のガレ場を登るとリシヤ山の山頂です。標高差約1,000mの登り応えのある登山です。

【旅行期間】7/15(土)~7/22(土)

【旅行代金】¥446,000 (大阪発着) ▲ポーランド最高峰リシヤ山(2,499m)



### 【大阪発着】初夏の花が咲き誇る佐渡島へ。温泉宿に3連泊。 花の島・佐渡ゆったり滞在ハイキング 4日間

【出発日】5/15(月) 【旅行代金】¥99,000

★シラネアオイやカタクリをはじめ、初夏のお花が咲き誇る佐渡島。温泉宿に3連泊するゆったり企画です。



観光庁長官登録旅行業第490号(第1種)/一般社団法人日本旅行業協会 正会員

ボンド保証会員

# アルパインツアーサービス株式会社

大阪 06-6444-3033

〒550-0003

大阪市西区京町堀1-4-3(TCF肥後橋ビル2階)